

今回は、先月3週間の教育実習に来ていた二人の大学生特集です。

「私が小学生の頃に好きだった本」

『ガヤガヤムッツリ』作・画 舟崎克彦（あかね書房）

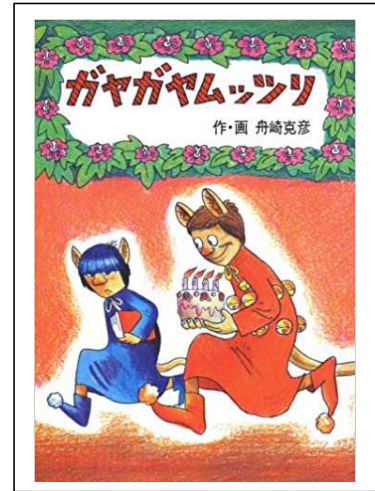
ガヤガヤはおしゃべりをしたり、歌を歌ったりすることが大好き。
ムッツリは一人で本を読んだり考えたりすることがしているのが大好き。
何から何まで正反対の二人だけれど、ひとつだけ同じことがありました。
誕生日です。

二人になりたいガヤガヤと、一人になりたいムッツリ。

一体どんな誕生日になったのかな？

二人のかけひきがとってもおもしろいので、ぜひ読んでみてください。

ら・ら・かんらにあります。（教育実習生 小金澤）



「思い出に残っている本」

『さるのせんせいとへびのかんごふさん』（ピリケン出版）

穂高順也：作 荒井良二：絵

どうぶつむらに新しく病院ができました。さるのせんせいとへびのかんごふさんはいろいろなことができます。薬を飲んで患者さんにかみつくと、注射になったり…。とっても楽しいどうぶつ村病院にあなたも行ってみませんか？
（教育実習生 山田）



教育実習生が、1年生に読み聞かせした本

『きょうはなんのひ』（瀬田貞二：作 林 明子：絵 福音館書店）

私が小学生の時、母に読んでもらってからすごく好きな本で、女の子がお父さん、お母さんのために宝探し形式でプレゼントを渡す姿がかわいくて、一年生にも読んであげたいと思って選びました。（山田）

『ばちがあたる！？』（ふじもとやすこ：作 宝島社）

小さい頃、母に読んでもらった本で、インパクトがあっておもしろい内容なので、とても印象に残っていました。

悪いことをしてばちがあたった子どもたちを紹介していくお話で、どんな悪いことをするとどんなばちがあたるのか、次はどんな子が出てくるのか、ちょっとこわいけど、とてもワクワクする絵本です。1年生のみんなにも楽しんでもらえるのではないかと思い選びました。（小金澤）